

目で見る 明治大学の歩み

#83



則元 由庸

1885・明治18

東肥法学会

東肥法学会はもともと有志による法律の勉強会でしたが、1885(明治18)年8月以降はひろく入会できるようになったことから実質的に法律知識普及のための学校と位置付けることができます。設置場所は現在の熊本市で、次に取り上げる熊本法律学校の前身となりました。校友で代言人であった則元由庸らが講師を務めました。

1889・明治22

熊本法律学校

熊本法律学校は1889(明治22)年2月に設立認可を受けた私立学校で、同年4月から明治法律学校と、翌年からは日本法律学校、和仏法律学校(法政大学の前身)と相次いで提携しました。校友の帖佐頭、境沢弥太郎(のち判事)らが学校運営・教育にあたりました。同校は近隣の学校と合併・分離などを経ながら、およそ10年間存続しました。



帖佐 頭



境沢 弥太郎



青山 鉞四郎



佐藤 清三郎

1909・明治42

中京法律学校

中京法律学校(現、中京法律専門学校)は1909(明治42)年に名古屋市内で創立された法律学校です。中央大学創立者のひとりで当時名古屋控訴院長であった藤田隆三郎、関西大学創立者のひとりで明治法律学校講師を務めていた手塚太郎、いずれも校友で弁護士の青山鉞四郎、佐藤清三郎、藤田鉞太郎らが学校運営・教育にあたりました。



藤田 鉞太郎

(注)写真は全て大学史資料センター所蔵
(付記)本ページの成果は、JSPS 科研費JP(16K03060)およびJSPS 科研費JP(19K02437)の助成を受けたものです。

神田発! 法律知識の全国普及③ 地方で活躍した校友たち

今回は、本誌75号(2017年7月)・79号(2018年7月)の当コーナーに掲載しました「神田発! 法律知識の全国普及」の第3弾です。

現在の明治大学、専修大学、中央大学、日本大学、法政大学は、明治10~20年代に創立され、明治時代は旧神田区やその周辺にキャンパスを構えていました。各校には代言人試験合格を志す多くの学生が集まりました。明治法律学校は1881(明治14)年1月に開校しましたが、早くも同年秋の試験において在校生の斎藤孝治ら5名が代言人試験に合格しています(免許は翌年1月)。代言人は1893(明治26)年から弁護士に変わりますが、難関の国家試験に合格しなければならないことは今日と同様です。

ところで、上記各校の卒業生たちの中には、自身の郷里や赴任先において、法律知識を広く教育するための学校の創立や運営に協力した人たちがいました。彼らは、いまだ法律知識が普及していなかった当時(明治時代)の社会状況を鑑み、その普及のために尽力したのです。今回は、地方で法律知識の普及に尽力した明治大学の校友たちを紹介します。

明治大学史資料センター 阿部 裕樹



斎藤 孝治

●旧神田区に所在した法学系私立学校

現校名	専修大学	中央大学	日本大学	法政大学	明治大学
創立時校名	専修学校	英吉利法律学校	日本法律学校	東京法学社	明治法律学校
創立年月	1880年9月	1885年7月	1889年10月	1880年4月	1881年1月
神田区内での創立・移転時住所	神田区中猿楽町4	神田区神田錦町2-2	神田区三崎町3-1	神田区北甲賀町19	神田区南甲賀町11

1888・明治21

岡山法律学校

岡山法律学校は1888(明治21)年に現在の岡山市で開校した私立学校です。史料がなく学校運営の詳細は不明ですが、校友で代言人であった入江武一郎が創立し講師を務めました。



入江 武一郎